

会報



令和2(2020)1.7
No.139

〒420-0853 静岡市葵区追手町9番18号 静岡中央ビル6階
TEL:054-255-4678 FAX:054-255-4699



URL <https://www.hs-pta-shizuoka.net/>
E-mail post@hs-pta-shizuoka.net



年頭のごあいさつ

静岡県公立高等学校PTA連合会

会長 小山 全司

新年あけましておめでとうございます。皆様には、令和になり初めての新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本県のPTA活動の推進に各段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、京都で開催されました第69回全国高P連大会京都大会には、本県から402名の多くの皆様に参加していただき本会を代表とするものとして大変うれしく思います。また、本会の重要事業の一つに位置付けて毎年行われていきます各地区PTA指導者研修会も計画のとおり全てが無事終了しました。世話人校・研修担当校の皆様にはご多忙の中、準備から運営まで携わっていただき誠にありがとうございます。京都大会及び地区PTA指導者研修会の報告は、静岡県高P連ホームページに掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。

昨年は4年に1度開催されるラグビーワールドカップが日本で開催され、日本チームが初めてベスト8に進出し日本全体が大変盛り上がりしました。静岡県のエコパスタジアムでも4試合が行われ、日本人だけでなく多くの外国人が本県を訪れ、本県の子供たちも今まで知らなかった出場国について調べたり、対戦チームの国歌を覚えて応援したり、学校の教科書では学べないグローバルという感覚を肌で感じとつ

たことと思います。また、敗戦チームが勝った相手チームに対して敬意を表する場面や、ファンが国を超えて互いに応援しあう姿に、感動と勇気を与えてくれるスポーツの素晴らしさを感じることができました。今年のオリンピック・パラリンピック大会も楽しみです。

しかしながら、国内では、台風15・19・21号により100名以上の方が亡くなり、12万棟の住宅が浸水などの被害を受ける大規模自然災害が発生しました。亡くなられた方並びに被災された皆様に、改めましてお悔やみとお見舞いを申し上げます。年々進行しているように思われる異常気象は、地球温暖化による気温上昇が原因と言われています。学校でも授業や部活動中の熱中症対策は必要不可欠なこととなり、多くの高校ではPTAの協力によりエアコンを導入しています。今後も子供たちの尊い命を守るため災害への準備や安全な学校環境の確保についてPTAの協力が必要と思います。

また、昨年11月に来年度から始まる大学入試における英語民間試験が見送りになったことは、学校はもちろん進学希望の高校2年生とその保護者にとつて大変衝撃的なことだったと思います。進路に関することは、将来に大きな影響があるため高校生にとつては最大の関心事です。全国高P連が隔年

でPTAに対して実施している「高校生と保護者の進路に関する意識調査」では、高校生の63%が保護者に「アドバイスをしてほしい」と答えているのに対し、保護者の71%が子どもにアドバイスするのは「難しい」と答えています。これは、社会の変化に伴い高校生に求められる資質や能力も変わり、雇用や受験システムも変化していることがあげられます。また、それに比例して情報量も飛躍的に増え、皆様が育った高校時代とは大きく変化をしているためだと思います。これを超えるためには、保護者と学校との連携、保護者どうしの連携が大切なことの一つだと思います。

結びに、本年も皆様でPTA活動をおおいに盛り上げていただき、出会う楽しさ、学ぶことの楽しさを感じながら、子どもたちのためにという気持ちを、会員一人一人が共有していただければと思います。改めまして、本会の活動に皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

Contents 目次

年頭のごあいさつ	1
令和元年度 地区PTA指導者研修会報告	2
令和元年度「高校生善行表彰」	3
東海高P連 第2回理事会	
第1回委員会報告	4
令和2年度全国高P連島根大会について	4
静岡県立伊東高校PTA紹介	5
静岡県立静岡高校PTA紹介	5
静岡県立池新田高校PTA紹介	6
静岡県立御殿場特別支援学校PTA紹介	6
静岡県教育委員会高校教育課	7
静岡県教育委員会特別支援教育課	7
令和2年度行事計画	8
一般財団法人静岡県高等学校安全振興会から	8

地区PTA指導者研修会報告

県内10地区と特別支援学校のPTA指導者研修会が、6月から10月にかけて県内各地で開催されました。この指導者研修会は、本会の事業の中でも重要なものとして位置付けられ、各地区の実施内容を県全体で共有できるように報告書にまとめ、ホームページでも公表しております。また、開催に対して高P連及び安全振興会から助成金を出して支援しております。各地区では、下表にありますように講演会により会員の資質向上に務めたり、グループワークなどを通して日ごろの親の悩みについて情報交換を行ったり大きな成果をあげています。

年1回開催で地区内すべてのPTAが集まる大きな大会であり、研修を担当する学校のPTAの方々は日ごろのお忙しい中で、計画・運営にあたっていただき、本会として厚くお礼申し上げます。今後ますます充実した研修会となることを祈念しております。



地区名	開催日時	会 場	世話人 理事校	内 容		参加人数 (昨年度)
				(テーマ、発表、分科会、講演等)		
賀 茂	7月3日(水) 14:00~15:30	河津バガテル公園 オレンジリー	稲 取	テ	社会的自立に向けた心の教育	100 (100)
				講	子どものレジリエンスを育てるには	
三島・田方	7月2日(火) 14:00~17:00	函南町文化センター	伊 東	テ	青少年の人格形成	128 (122)
				講	子どものレジリエンスを育むには	
沼 津 駿 東	7月4日(木) 13:00~16:30	沼津市立図書館	沼津工業	テ	ストレスフル時代を生き抜く我が子のために	195 (189)
				分	PTA主催行事の計画について(協力とその課題)	
					学校の進路指導とPTAの関わりについて	
					学校と保護者の連携について	
				講	PTAと地域の連携について	
富 士 富 士 宮	9月13日(金) 14:00~17:00	富士市文化会館 ロゼシアター	富士宮北	テ	子育てに正解はない	271 (265)
				発	完璧を求めないPTA活動に	
				発	未来に向かってPTAと学校で創る新たな伝統	
				講	思春期の心のもがきと親の対応	
清 水	9月6日(金) 14:30~16:45	マナーハウス エリザベート	清水南	テ	これからの時代に生きる高校生に期待すること	115 (139)
				講	集団での問題解決とコミュニケーション	
静 岡	10月5日(土) 14:30~17:00	クーポール会館	科学技術	テ	知る力、活かす力、応える力を発揮できる高校生を育成する	215 (193)
				発	科学技術高校少林寺拳法部演武・PTA紹介	
				講	世界遺産 富士山	
志太・榛原	7月5日(金) 13:00~16:50	焼津市文化センター	清流館	テ	高校生に適した食育	201 (198)
				講	自分を好きになる方法	
				講	ストレスに負けない生き方	
掛 川	7月5日(金) 13:00~16:40	ふじのくに 茶の都ミュージアム	小笠 掛川西	テ	楽しい話し方	78 (75)
				講	楽しい話し方	
				講	一杯のお茶から広まるコミュニケーション	
磐 田	7月27日(土) 13:00~16:30	月見の里学遊館 うさぎホール	袋井商業	テ	子どもの心を動かす家族の力	150 (150)
				講	家族への思い	
				分	「家族」をテーマにグループ情報交換会	
浜 松 南 部 北 部	6月14日(金) 14:00~16:40	呉竹荘	浜松湖東	テ	子どもがインターネットを利用する際の注意事項 ～みんなで考える情報モラルとコミュニケーション～	159 (168)
				講	子どもがインターネットを利用する際の注意事項 ～みんなで考える情報モラルとコミュニケーション～	
				分	「情報モラルの指導方法について考える」	
特別支援P連	6月15日(土) 14:30~16:10	静岡県コンベンション アーツセンター グランシップ	沼津聴覚特支		総会・研修会	99 (88)
				発	チーム★輝きへ事業報告	
				発	プレジョブ活動(御殿場特支)	

令和元年度「高校生善行表彰」

本年度の高校生善行表彰選考委員会が令和元年10月11日（金）に静岡市のクーポール会館において行われ、個人14人、団体13部活動の受賞が決定しました。

本事業は、児童生徒の健全育成推進事業一環として、昭和53年度から始まり今年度で41回目となります。

表彰が決まった個人また団体の中には、普段、おとなしく目立たない、また、団体においては、なかなか県大会上位に入賞することができない部活動もあります。そのような生徒たちの善意をしっかりと認めてあげて、顕彰することを趣旨としています。高校生の多く善行により、より良い社会の醸成が図られ、また、生徒自身の自己肯定感や自己有用感も高められ、更に、他の生徒へも良い影響があると信じています。

受賞された個人・団体の皆様へは、高P連から、賞状と記念品を贈呈させていただきました。来年度もたくさんの方の推薦が寄せられることを期待しております。

受賞数 (一) 内は昨年度
個人の部 14人 (7人)
団体の部 13部活動 (4部活動)

(掲載順は東中西部の順)

【個人の部】 ①氏名(敬称略) ②内容

静岡市立清水桜が丘高等学校

- ① 1年生 望月 翼 さん
② 踏切で自転車横断中の男性が車を避けようとして転倒。電車が近づいている中、男性の救出の手助けをした後、緊急停止ボタンを押し、電車は100m手前で止まり助かった。

静岡県立科学技術高等学校

- ① 1年生 小林 昂生 さん
1年生 井柳 日向 さん
② 駅構内で手すりにもたれかかっていた男子高校生を見つけ、安否を確認後、駅員に連絡するとともに救急車を要請した。男子高校生の所属高校にも状況を電話して遅刻することを連絡した。

静岡県立科学技術高等学校

- ① 1年生 桶谷 樹生 さん
1年生 山梨 英里 さん
1年生 時田 和弥 さん
② 登校時、道路で自転車乗車中に転倒した女性を発見し、安否を確認後、道路脇まで運び、応急処置を行い、救急車を要請した。

静岡県立相良高等学校

- ① 3年生 西村 円 さん
② 「SCH地域活動相高プロジェクト」(希望参加するボランティア活動)において、全校の中で、3

年間で最も多く活動に参加した。地元の祭の運営補助、海岸防潮堤壁画塗り、お盆の行事等

静岡県立天竜高等学校

- ① 1年生 後藤 颯人 さん
② アパートが全焼した火事において、消防隊の到着前に住人2人を救出した。救助された方が民生委員に報告した。

静岡県立新居高等学校

- ① 2年生 鈴木 海人 さん
② J R駅前で発生したバイクと歩行者の接触事故の際、警察と救急車への連絡を速やかに行った。事故を目撃した一般市民から学校に連絡があった。

静岡県立新居高等学校

- ① 3年生 和久田 彩翔 さん
3年生 植田 大斗 さん
3年生 増谷 竜樹 さん
3年生 本間 健真 さん
② J R電車内で、急に具合が悪くなった女性に声をかけ、途中下車した際に体を支えるなど補助し、女性が落ち着くまで傍らで付き添った。女性から学校に連絡があった。

静岡県立新居高等学校

- ① 2年生 中村 祥裕 さん
② 朝、J R駅改札口で特別支援学校の生徒が定期券の期限切れで、駅から出られなく困っていたところ遭遇し、運賃を代わりに支払っ

てあげた。その後、特別支援学校の生徒から学校に連絡があった。



個人の部 記念品

【団体の部】 ①団体名 ②内容

静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校

- ① 吹奏楽部
② 平成26年度から毎年地元の演奏会などの運営補助や行事での演奏により地域貢献をしている。

静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校

- ① 美術部
② 鉄道カード下の通路が防犯上危険なため、壁面にカラフルな絵を描いて市民から好評を得た。

静岡県立伊東商業高等学校

- ① 野球部
男子バレーボール部
② 台風被害を受けた老人福祉施設のトイレ用の水の運搬や折れた植木や落ち葉の片付けをした。

静岡県立静岡高等学校

- ① 弦楽合奏部
② 平成25年から毎年介護付き有料老人ホーム「はなまるハウス若松」

での慰問演奏をしている。

静岡県立静岡高等学校

① 吹奏楽部

- ② 平成25年から大石内科医院で慰問演奏をしている。地元「安東まつり」「麻機まつり」「三保音楽祭」にも毎年ボランティアで参加している。

静岡県立静岡高等学校

① マンドリン部

- ② 平成23年度から県立総合病院や子ども病院での院内コンサートを毎年開催している。

静岡県立静岡城北高等学校

① 吹奏楽部

- ② 平成26年から毎年地域の敬老会でボランティア演奏をしている。

静岡県立静岡城北高等学校

① 箏曲部

- ② 平成27年から毎年地域の居宅介護支援事業所においてボランティア演奏をしている。

静岡県立静岡城北高等学校

① ギター部

- ② 平成24年から毎年地域の図書館などの公共施設、高齢者介護施設などで演奏をしている。

静岡県立掛川工業高等学校

① ギター部

- ② 平成19年度から毎年福祉施設、授産施設、老人介護施設などで慰問演奏をしている。

静岡県立天竜高等学校春野校舎

① ボランティア部

- ② 平成5年から26年間、月1回独居老人宅に配送されるお弁当の掛け紙作りをしている。

静岡県立天竜高等学校春野校舎

① 吹奏楽部

- ② 平成23年から特別養護老人ホームへ月1回程度訪問演奏をしている。その他、地域の文化発表会、まつり、コンサートで演奏活動をしている。



団体の部 記念品

東海地区高P連

第2回理事会・第1回委員会報告

令和元年10月24日(木)午後から、愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」において、第2回理事会及び第1回委員会が行われました。

【第2回理事会の報告】

一 報告事項

- ① 全国高P連理事会・定期総会の報告
② 全国高P連会長・事務局長連絡会

の報告

- ③ 令和元年度東海地区高P連岐阜大会報告
二 協議事項

- ① 令和2年度東海地区高P連事業計画
② 令和2年度東海地区高P連三重大会日時 令和2年6月19日(金) 13時～会場 三重県総合文化センター
研究協議(発表校)

- 愛知県立三谷水産高等学校
三重県立白山高等学校

講演

演題 「生きるって、なに？」

「自分らしく生きて、自分を好きになろう！子どもを『地球人』に育む秘訣」

講師 たかのてるこ氏

地球の広報・エッセイスト

【第1回委員会の報告】

令和元年6月23日に開催されました全国高P連各委員会の報告がありましたので、主な内容のみ報告します。

① 健全育成委員会

「バイク三でない運動」から、「高校生マナーアップ運動」に至る経緯を確認した。「バイク三でない運動」については、各都道府県が実態に即して判断・実施する。また、薬物乱用防止パンフレットを作成し全会員に配布する。

② 進路対策委員会

本年度は、2年毎に行っている「高

校生と保護者の進路に関する意識調査」を実施する。

③ 調査広報委員会

Google アンケートシステムが完成し、稼働し始めた。今後はアンケートの取り方、情報伝達の仕方を考え、ネットワークの構築を工夫していく。

④ 研修委員会

研修委員会としての全国大会の分科会テーマに関する検討と今後の関わりについて引き続き検討していく。

令和2年度全国高P連大会

島根大会について

来年度の全国大会は、「神話の国」出雲地方で有名な島根県開催となります。多くの方のご参加を祈念しています。

第一日目 令和2年8月20日(木)

13時10分～16時40分

開始式(中継)・分科会

会場は、4市6会場

第二日目 令和2年8月21日(金)

9時10分～12時40分

全体会(開会式・表彰式、記念講演、閉会式)

会場は松江市内2会場

(詳しくは大会ホームページをご覧ください。)

静岡県立伊東高等学校PTA紹介

学校紹介



本校は、昭和8年に伊東高等女学校として開校して以来80有余年の歴史を持ちます。昭和23年に伊東高等学校となり、同年に定時制課程も併設しました。昭和52年には伊東市街越しに相模灘を見晴らせる現在地に移転しました。また、平成18年には以前の伊東城ヶ崎高校を城ヶ崎分校として併置し、現在に至っています。

「自立・創造・敬愛」の校訓のもと、文武両道を通して地域に信頼される学校を目指してきました。地域の普通科高校として国公立大学への進学実績を維持しつつ、部活動でも昨年度の水泳部松本君の全国優勝を始め、バドミントン部、陸上部、演劇部、美術部、写真部などが全国の舞台に駒を進めています。しかしながら伊豆東海岸地域の人口減少に伴い、学校規模の縮小を余儀なくされ、令和5年度には、城ヶ崎分校・

伊東商業高校の3校統合による新構想高校に移行する予定です。新たな学校にもこれまで培ってきた伊東高校の魂を引き継いでいきたいと考えています。



校長 鈴木 伸彦

PTA紹介



伊東高校のPTAの活動としては、例年「伊高祭」において、生徒会の生徒と協力してバザーを行っています。1月末にはマラソン大会があり、そこでは豚汁を調理して、走り終わった生徒たちにふるまっています。生徒たちが完走した満足感と豚汁の美味しさで笑顔になるのを毎年、楽しみにしています。今年度は統合予定の伊東商業高校と合同のマラソン大会になりますので、走路観察など二校のPTAが協力して行います。今後は様々な活動で統合する三校のPTAの協力の在り方を模索していくこととなります。

他の活動としては、地区懇談会の開催、生活委員による祭典補導、広報委員によるPTA広報誌「潮鳴」の発行などがあります。

また、今年度は田方地区の指導者研修会の当番校として、静岡大学教



育学部的小林朋子先生をお招きして、講演をしていただき、その準備・運営をいたしました。各校から合わせて128人に参加していただき、有意義なものとなりました。

PTA会長 杉山 知己

静岡県立静岡高等学校PTA紹介

学校紹介

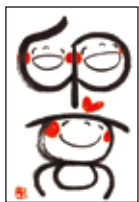


静岡高校は、明治11(1878)年に創立され、校訓「印高(こうこう)」のもと、勉学に励み、豊かな感性と道徳心を備え、何事にも主体的に行動する生徒を育成すること、将来社会の様々な分野で活躍するリーダーを育成することを、教育目標としています。

「印高」とは、その時その時の自分に満足せず、自らを成長させていくこと。高い志を持ち、日々の授業、学校行事、部活動等を通して、自らを高めていくこと。各目の進んだ道で持てる能力を活かし発揮し、社会に貢献すること。このような意識を生徒にわたり持ち続けること。静岡生には、「印高生(こうこうせい)・高きを仰ぐ生徒」であることを求めています。

私たち教職員は、保護者・地域・同窓生の皆様と協力し、教育を取り巻く状況の変化を捉え、時代の変化や社会の要請を念頭に、多様な教育活動を通して、生徒達の高い志と主体性を引き出し、支え、育んでいきたいと考えています。

今年度6月の高P連研修会の際、講師の「笑い文字普及協会」の江まさみ様に、校訓「印高」の二文字を「自ら立てた志や希望に向かって、困難や苦労があっても、笑顔で進んで欲しい」との願いを込めて書いていただき、校長室入り口に掲示しています。



校長 志村 剛和

PTA紹介



本校PTAでは、4つの委員会を組織し、活動をしています。今年度、PTA活動の活性化を目的とし、新規の活動を2つ取り入れました。一つ目は、ボランティアによるトイレ清掃です。PTAとして、学校側にトイレのリニューアルの要望を出すとともに、まずは自分達で、トイレを隔々まで綺麗にしてみようか、という趣旨で、土曜日の午後、合計6回、トイレ清掃を行いました。また、その活動の中で、トイレを綺麗に使ってもらう、ということの一部の塗装をし直し、そこに絵を飾る事になりました。古びたトイレが生まれ変わりました。来年度以降も継続できれば良いと思います。二つ目は補導委員で、体育大会の際の駐車場への誘導、来場者への受付を行いました。子どもたちの姿を間近で見られるというところで、多くの方の御協力をいただきました。今後も、微力ではありますが、学校の活性化に寄与できるように活動を実施していきたいと考えています。



PTA会長 和田 秀基

静岡県立池新田高等学校PTA紹介

学校紹介

本校は大正8年に開学以来2万人以上の卒業生を輩出し、令和元年度に創立100周年を迎えました。礼譲・勤労・協同の校訓の下、有為な人材の育成に努めています。



1学年定員160名の学校ですが、伝統の砂丘マラソン、生徒会主催のマナー集会、御前崎市の小・中学校との連携等、特色ある取り組みが行われています。

その一つが部活動です。近年では剣道部と陸上競技部が全国大会に出場しました。また、有志部活動による朝清掃も行われており、自発的に清掃を行う生徒の姿もよく見られます。

もう一つが校外研修への積極的な参加です。「世界津波の日高校生サミット」には3年連続で出場しています。



今年度は国内から約400名の高校生が北海道に集まり、津波防災について英語で発表や話し合いをしました。また、災害被災地の訪問やボランティア活動、県主催のモデル研修にも参加しています。参加後はその経験を還元するために、全校生徒を前に報告会を開催しています。

校長 牧田 恵

PTA紹介



100周年を迎える池高には伝統行事が沢山あり、そんな行事をサポートするためPTAは本部役員9名を中心に地区理事や教職員、地域の協力をいただき活動しています。

しぶき祭の名前で親しまれている学園祭では、食品販売とバザーを行います。各家庭から提供されたバザーの品は毎年好評で、地域の方々が開始前から列になる程です。唐揚げや焼きそば等の食品販売では、出来立てを食べてもらうために地区理事はひっきりなしに調理をします。池高名物の砂丘マラソンは遠州灘海岸の砂丘を走りぬく過酷なものです。終了後疲れた体に染み渡る豚汁を、役員総出で具がたっぷりになるように作ります。どの行事も生徒との距離が近く、まるで自分も高校生に戻った気持ちで楽しめています。また、校外研修に生徒が参加しやすいように「チャレンジ&サポート事業」も行い、金銭的な負担が軽減できるよう取組んでいます。これからも子ども達に寄り添った活動を続けていきたいと思っています。



PTA会長 後藤 吉彦

静岡県立御殿場特別支援学校PTA紹介

学校紹介



本校は、昭和32年御殿場市立高根小学校の特殊学級として設置され、御殿場市立養護学校を経て、平成12年静岡県立御殿場養護学校として開校し、今年度20周年を迎えました。

学校教育目標を「学びあい、ともに輝き 未来を創る」として、小学部、中学部、高等部220人の児童生徒が、清く雄大な富士に向かっていっしょけんめい学んでいます。年間を通して富士山学習や地域の方々の花植え、清掃活動、作業製品の販売、フィールドワーク、美術作品の展示等が、地域と共に歩む本校の特色ある取組です。また、大学や家庭と連携した防災教育やICT機器を活用した授業、地域の食料を生かした食育など、児童生徒の社会参加や自己実現を支援する教育に取り組んでいます。ここ数年、駒門パーキングや道路の整備など学校周辺の開発が進み、学びの場や地域の人々とのつながりが広がっています。今後も「あいさつ 笑顔 チャレンジ」で、一人一人の可能性を最大限に広げていきます。2月には「富士山学習」の作品発表を行います。ぜひ本校の富士山たちに会いに来てください。



校長 秋山 弓

PTA紹介



支援が必要な子供たちの成長や卒業後の進路を考えると、親同士のつながりは大きな力となります。本校PTAは会長を中心とした三役と、研修・広報・保健体育・環境施設・厚生・地域活動・ふれジョブ推進の七つの専門部で成り立ち、保護者全員がいずれかの部に属しています。福祉まつりのバザー出店、親睦会、防災を考える地区会、環境整備作業などの活動を通じ、会員が協力し交流を深めています。また救急法講習や福祉施設などの見学会で学び、情報交換を行っています。

ごときPTAのユニークな活動として「ふれジョブ」があります。これは障害のある子が、地元企業とボランティアの協力の元、地域社会での仕事体験を通じて、地域社会の一員として居場所を持てるようになる活動です。関係者が一同に集まり、頑張った子供たちを励ます会も行っています。この活動で第69回全国高等学校PTA連合大会京都大会において、団体部門の表彰を受けました。



開校20周年を迎える本年は組織改編も含め、時代に合わせ、さらに充実したPTA活動を行っていきます。

PTA会長 遠藤 繁子

「魅力ある学校づくりの推進に向けて」

県教育委員会高校教育課

本県では、学校教育に加え、家庭、地域、企業等が連携し、子供たちの健全な成長を支援する取組を実施しており、乳幼児期から社会人、高齢者にといたるライフステージに応じて、社会総がかり、地域総ぐるみで「有徳の人」の育成を進めています。

県立高校においては、「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画（県立高等学校第三次長期計画）」に基づき、多様化する児童生徒の実態や地域社会の実情・ニーズに応じた、魅力ある学校づくりを計画的に進めています。

また、令和4年度から高校において、年次進行で実施される新学習指導要領では、子供たちに求められる資質、能力とは何かを社会と共有し、社会と連携する「社会に開かれた教育課程」が重視されています。



具体的には、学校教育を学校内のみで完結せず、身近な地域を含めた社会とのつながりの中で子供たちが学び、自らの人生

や社会をよりよいものに変えていくという実感を子供たちに持たせることが重要だと考えています。

そこで、県教育委員会高校教育課では、昨年度から、各県立高校の特色や現状に応じ、生徒の学力と教員の指導力の向上等を目的として、「進学重点」「学力向上」「学力進展」のコーススクール33校を指定するとともに、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力を身に付けたグローバル人材の育成を目的として「英語教育」のコーススクール6校を指定し、大学や地元企業との連携した取組を実施しています。

例えば、高校生が地元のテーマパークを一日運営したり、地元商店街に高校のアンテナショップを開設したり、高校生が講師となつて地域開放講座を実施したりするなど、コーススクール事業を通じて、地元企業や地域と連携した取組を実施しています。

今後、社会の変化や地域・保護者からの期待に応える「地域とともにある学校」づくりを推進し、地域社会の拠点となる魅力ある学校づくりを目指していきます。



「共生・共育」の充実を目指して

県教育委員会特別支援教育課

障害のある人となない人が、居住する地域社会の中で、共に支え合い育ち、生活する。そのような共生社会を目指すには、学校教育段階から共に生活し共に学ぶ「共生・共育」の取組が必要です。

県教育委員会特別支援教育課では、各学校教育段階における「共生・共育」の充実に向けた取組を進めています。

○「交流籍」を活用した交流及び共同学習

今年度から、県内全市町において、特別支援学校に通う児童生徒が居住する地域の小・中学校に「交流籍」を置き、それを活用した「交流及び共同学習」を開始しました。

居住地の教育委員会と学校で、地域の対象の児童生徒を把握することにより、特別支援学校に通う子ども地域の子どもであることの認識が深まり、共に授業や行事等の活動をする機会を増やしています。

このような仕組みを活用し、小学生段階から「共生・共育」の理念を根付かせ、さらに社会全体へ広げることが目指しています。

○高等学校での「共生・共育」
現在、県内10校の高等学校内に、特

別支援学校の高等部分校を設置し、障害の有無を超えて同世代の生徒が活動の場を共有しながら、相互に成長し合う交流を深めています。

高等学校の特色ある学科や特別支援学校の作業学習等を生かした授業交流、双方の行事への参加などを通して、障害や障害のある人への理解を深めたり、互いの素晴らしさを発見し、認め合ったりする機会となっています。

○特別支援学校のセンター的役割
特別支援学校は、近隣の特別支援教育のセンター的機能を果たす役目も担っています。

県内を8地区に分けた高校間ネットワークに担当の特別支援学校を置き、特別な支援の必要な生徒の教育相談、授業づくりへの助言や要請に応じたケース会議、巡回相談・専門家チームへの必要な支援等を行っています。

このネットワークにより、特別支援教育に関する情報の共有や研修、事例検討を始めとする情報も共有が容易となり、支援の必要な生徒の「教育的ニーズ」に対応していくことが可能となります。

学校間や関係機関との連携、外部人材の活用、教職員の専門性の向上など、生涯にわたる地域の支援システムとの連携も合わせ、乳幼児期を含めた各学校教育段階での「共生・共育」の充実を目指しています。

令和2年度 主な行事予定

次代を担う青少年の心身共に健やかな成長と高等学校教育の更なる充実と発展を願っている私たちPTAは、生涯学習の視点に立脚して、自らが学び、自らの資質の向上に努めるとともに、青少年を取り巻く社会環境の整備を積極的に推進する。また、社会教育団体として家庭・学校・地域・社会との連携・協働を図り、家庭や地域の教育力の充実及び向上等に寄与する。そのため、次の重点目標を定め、事業を企画し積極的に推進する。

(重点目標)

- 1 自主的、主体的なPTA活動を推進し、充実した魅力ある学校づくりを支援する。
- 2 学校及びPTA相互の連携（幼・小・中・高）を密にし、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。
- 3 教育環境の整備及び充実を図る。
- 4 学校や関係機関等と連携し、就職・進学等の進路指導の充実に努める。
- 5 学校や関係機関等と連携し、防犯活動や交通安全教育・交通安全運動を一層推進する。

静岡県公立高等学校PTA連合会			
期 日	曜 日	行 事 (事 業)	会 場
5月14日	木	会計監査、第1回本部役員会、第1回理事会、被表彰者選考委員会	クーポール会館
6月3日	水	第2回本部役員会、総会（表彰式）、研修会	ホテルセンチュリー静岡
10月9日	金	高校生善行表彰選考委員会	クーポール会館
1月22日	金	第3回本部役員会	パルシェ
2月5日	金	第2回理事会、特別委員会	クーポール会館
東海地区高等学校PTA連合会			
期 日	曜 日	行 事 (事 業)	会 場
4月23日	木	第1回理事会	ウインクあいち
6月19日	金	総会、東海地区高P連三重大会	三重県総合文化センター
10月23日	金	第2回理事会、第1回委員会	ウインクあいち
2月19日	金	第3回理事会、第2回委員会	ウインクあいち
全国高等学校PTA連合会			
期 日	曜 日	行 事 (事 業)	会 場
6月27日	土	定時総会	東京ガーデンパレス
8月20日	木	全国高P連大会「島根大会」第1日目（午後）分科会、静岡県情報交換会	島根県
8月21日	金	全国高P連大会「島根大会」第2日目（午前）講演・分科会報告	島根県

(参考)

令和3年度 静岡県公立高等学校PTA連合会 総会・研修会：令和3年6月4日（金）ホテルセンチュリー静岡

令和3年度 東海地区高等学校PTA連合会 静岡大会：令和3年6月25日（金）静岡市民文化会館

一般財団法人
静岡県高等学校安全振興会から

「第9回全国高等学校等安全互助会
連絡協議会総会及び研究大会」

高等学校等の健康・安全教育や災害に対する救済事業が円滑に行われることを目的に、全国18道県市の各団体の理事長・事務局長などが集まり、北海道札幌市内で開催されました。本会の鈴木敏彦元理事長が全国の会長を務めています。

(期日)令和元年10月3日(木)～4日(金)

(会場)ANAクラウンプラザホテル札幌

I 開会行事 あいさつ

- ・ 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室長補佐
- ・ 北海道教育委員会教育長
- ・ (社)全国高等学校PTA連合会長

II 総会

- ・ 前年度事業・決算報告（承認）
- ・ 令和元年度役員選出
- ・ 本年度事業計画・予算（承認）
- ・ 令和3年度開催案(案)：新潟県(承認)

III 研究大会

・ 研究協議Ⅰ（全体会）

テーマ「給付金の増加等に伴う共済事業関連規程の改定に関する協議」

2県の事例発表の後、文部科学省の担当者から助言・講話がありました。

・ 研究協議Ⅱ（分科会）

4つの分科会に分かれ、事業の在り

方、災害防止と安全普及活動、安定した事業運営などについてそれぞれの団体の現状や課題について話し合い大変参考になりました。



鈴木敏彦会長



文科省助言・講話

「児童生徒の健康・安全に関する
研修会等支援事業」の活用を！

本会が取り扱っています傷病見舞金の給付件数は、ここ数年間過去最高を記録し、高水準で推移しています。この事業を有効に活用し、災害の未然防止に役立ててください。

編集後記

会報の編集にあたって、過去の会報を調べてみました。第1号は昭和38年3月30日発行。当時は「PTA会長連絡会会報」という名称で、第一次生徒急増期の中で4月から県立高校10校が開校するという記事とそのための県知事の予算説明、相良高校、修善寺工業高校のPTA会長の寄稿が掲載されていました。その10年後には高校生の非行やバイクの「三不運動」について活発に意見交換が行われ、今はスマホの問題と、時代の変遷により保護者の悩みも大きく変化しています。いつの時代も親の悩みは尽きないものだと感じました。

(事務局長)